

ヒマラヤ学誌

第12号

目次

巻頭言	編集委員	
Editorial		
Non-Caucasian and High Altitude	<i>Kozo Matsubayashi et al.</i>	3
特集1：総合地球環境学研究所「高所プロジェクト」特集		
(1) インド・ラダーク		
ラダーク豪雨災害避難住民におけるストレス関連障害	石川元直ほか	7
アンデス・ラダーク地域住民における高所適応の検討	宝蔵麗子ほか	15
歩数計からみたインド北西部ラダーク・ドムカル高所住民の生活習慣		
—運動量と食生活—	福富江利子ほか	23
ラダークにおける基本料理の栄養成分データベースの構築	木村友美ほか	32
ヒマラヤ・ラダークの移牧の特質—農耕・牧畜・交易複合システム—	平田昌弘	40
ラダーク気象観測—通年データと2010年8月洪水時の状況—	谷田貝亜紀代ほか	60
インド・ヒマラヤ、ラダーク山脈のドムカル谷における氷河湖と氷河湖決壊洪水の現状	奈良間千之ほか	73
インド北部ラダーク地方の農林地利用状況		
—2010年ドムカル村医学キャンプでのヒアリングから—	野瀬光弘ほか	85
山地における災害被害の変化		
—2010年8月にインド北西部ラダーク管区で発生した集中豪雨被害をめぐる考察—	山口哲由	93
(2) インド・アルナーチャル・プラデーシュ		
インド、アルナーチャル・プラデーシュ州における野生食用・薬用植物利用の特徴	小坂康之ほか	101
Brokpa と Unpa における血圧と年齢相関の比較	石本恭子ほか	117
(3) ペルー・アンデス、ブータン、ネパール他		
ペルー南部アンデス高地の乳加工体系		
—乳加工がなかった地域での乳加工—	平田昌弘	123
古代アンデス文化における自然観とその変化の一事例：		
ペルー・ワウラ谷下流域出土の土器に描かれるイコノグラフィの分析から	市木尚利	132
龍の国、ブータンに学ぶ共生智（ともいきの智慧）	奥宮清人	143
ブータン・カリン高齢者健診予備報告	坂本龍太ほか	149
輪廻転生と殺生—ブータンと日本の場合	湯本貴和	158
西ネパールの採集狩猟民ラウテの生活・社会とその変容	カナル，キソル・チャンドラほか	163
特集2：雲南懇話会からの寄稿		
中国雲南省哀牢山地に於けるハニ族の伝統的な棚田農耕生態文化及びその変遷	黄紹文ほか	182
雲南省南部・ヴェトナム国境地域を訪ねて—2009年11月—	前田栄三	198
タイ文化圏の農耕文化—ラオス北部の稲作を中心に—	園江 満	209
「国境」からみた中国内モンゴル自治区エゼネ旗の60年	児玉香葉子	223
内陸国ザンビアへの農業分野の援助と今後の方向性	宮坂 実	232

2011

京都大学ヒマラヤ研究会
人間文化研究機構・総合地球環境学研究所
「高所プロジェクト」

投稿規定

1. 本誌への投稿は、京都大学ヒマラヤ研究会会員とともに、非会員からも受け入れる。掲載論文は他誌に未発表のものとする。
2. 本誌には次のものを掲載する。
 - 1) 原著、2) 総説、レビュー、3) エッセーなど
3. 原稿は別に定める様式に従って、可能な限り、電子ファイルで作成する。
4. 論文の長さは、原則として、図表を含めて原稿枚数、24枚(400字/枚)以内とする。また、カラー印刷希望の場合など、図表、写真などで製版、印刷に特別の費用を要するとき、実費を投稿者の負担とする。なお、図表は1頁でおさまるものとする。
5. 論文には、研究の目的、方法および結果を理解できるような300語以内の英文抄録をつけて提出する。また表題、氏名および所属名の英文も併記する。
6. 原稿は、発行者編集係宛へ提出する。
7. 投稿原稿の採否は編集委員会で行い、査読結果により修正を求めることがある。
8. 原稿は原則として返却しない。原図・写真等の返却を希望する場合は、その旨明記すること。
9. 論文の別冊は印刷に要する実費の全額を著者が負担する。
10. 採択された論文等の著作権(著作権法27条 翻訳権、翻訳権法28条 二次的著作物の利用に関する原作者の権利)は、発行者(京都大学ヒマラヤ研究会および、人間文化研究機構・総合地球環境学研究所「高所プロジェクト」)に帰属する。
11. 発行者は、当該論文等の全部または一部を、発行者ホームページ、発行者が認めたネットワーク媒体、その他の媒体において任意の言語で掲載、出版(電子出版を含む)出来るものとする。この場合、必要により当該論文の抄録等を作成して付すことがある。

原稿の様式

1. 原稿は新かなづかい、口語体、平がなの横書きとする。漢字は原則として常用漢字とする。
2. 外国の人名、地名、物件名などは原語を用いる。ただし、人名、固有名詞およびドイツ語の名詞は最初の1字を大文字、他は小文字で書く。
3. 動物のラテン語学名はイタリック、日本語名はカタカナで書く。
4. 数量の記号は、C.G.S. 単位により欧文で表すこと。
5. 図表は鮮明で印刷しやすい形にして、説明文をつけ、おおよその挿入個所を本文左余白に指示する。
6. 章、節、項などをあらわす符号として、次のようなものを用いる。
 - I. II. III.
 1. 2. 3.
 - 1) 2)
 - (1) (2) (3)
 - a. b. c.
 - a) b) c)
 - (a) (b) (c)
7. 引用文献の記載は次の様式にする。
 - 1) 雑誌の場合は、著者名(3名以上の場合は「ほか」または「et al」とする)、表題名、雑誌名、巻:掲載ページ、発行年の順とする。ただし、雑誌名は決められた略称を用いる。
 - 2) 単行本の場合は、著者名(監修または編集者名):項目名(書名). 発行所, 所在地, 発行年:引用頁. の順に記す。

<引用文献記載例>

雑誌

 - 1) 堀了平:プータンの生薬資源. ヒマラヤ学誌3: 113-122, 1992.
 - 2) Rowe JW. Kahn RL. Human aging: Usual and Successful. Science 237:143-149, 1987.

単行本

 - 1) 川喜田二郎(今西錦司編): 農業北限線の問題(大興安嶺探検). 講談社, 東京, 1975:514-534.
 - 2) West JB: High life. A history of high-altitude physiology and medicine. Oxford University Press, New York, USA, 1998: 132-163.

編集委員

稲村哲也 (愛知県立大学)	奥宮清人 (総合地球環境学研究所) *
河合明宣 (放送大学群馬学習センター)	竹田晋也 (京都大学 A・A 地域研究研究科)
辻本雅史 (京都大学教育学研究科)	月原敏博 (福井大学教育地域学部)
古川 彰 (関西学院大学社会学部)	松沢哲郎 (京都大学霊長類研究所)
松林公蔵 (京都大学東南アジア研究所) *	*: 編集責任者

2011 年 5 月 1 日発行

ヒマラヤ学誌 第 12 号

発行者	京都大学ヒマラヤ研究会 人間文化研究機構・総合地球環境学研究所 「高所プロジェクト」 〒603-8047 京都市北区上賀茂本山 457 番地 4 奥宮清人氣付け Tel. 075-707-2100 (代表), Fax. 075-707-2106 (代表) e-mail: okumiyak@chikyu.ac.jp
編集委員会	〒606-8501 京都市左京区吉田下阿達町 46 京都大学東南アジア研究所、松林公蔵気付け Tel. 075-753-7368, Fax. 075-753-7168 e-mail: kmatsu@cseas.kyoto-u.ac.jp
印刷所	株式会社 土倉事務所 〒603-8148 京都市北区小山西花池町 1-8 Tel. 075-451-4844, Fax. 075-441-0436 e-mail: jde07711@nifty.com

Himalayan Study Monographs

No.12 2011

Preface	<i>Editors</i>	
Editorial		
Non-Caucasian and High Altitude	<i>Kozo Matsubayashi et al.</i>	3
The High Altitude Project in Research Institute for Humanity and Nature		
(1) Ladakh, India		
Disaster-Related Psychiatric Disorders among Survivors after Flooding in Ladakh	<i>Motonoao Ishikawa et al.</i>	7
Differences in High Altitude Adaptation between the Andes and Ladakh	<i>Reiko Hozo et al.</i>	15
Lifestyle of People in Domkhar, Ladakh, Northwest part of India using Passometer — The amount of exercise and dietary habit —	<i>Eriko Fukutomi et al.</i>	23
Development of Nutrients Database on Main Diets in Ladakh	<i>Yumi Kimura et al.</i>	32
Characteristics of Transhumance in Ladakh, Himaraya — Complex System among Agriculture, Pastoralism and Broad Trade —	<i>Masahiro Hirata</i>	40
Meteorological Observation in Ladakh, the Western Part of the Tibetan Plateau — General view and rainfall of the flood event in August 2010 —	<i>Akiyo Yatagai et al.</i>	60
Current State of the Glacier Lakes and Related Outburst Floods in the Domkhar Valley, Ladakh Range, Indian Himalayas	<i>Chiyuki Narama et al.</i>	73
Agricultural and Tree Plantation Land Use in Ladakh of Northern India: Hearing Survey at Domkhar Village Medical Camp in 2010	<i>Mitsuhiro Nose et al.</i>	85
Transition of Mountain Disasters — A Case of the Disaster Caused by Torrential Rain in August 2010 at Ladakh Province, India —	<i>Takayoshi Yamaguchi</i>	93
(2) Arunachal Pradesh, India		
Characteristics of Wild Edible and Medicinal Plant use in Arunachal Pradesh, India	<i>Yasuyuki Kosaka et al.</i>	101
Comparison of Correlation between Blood Pressure and Age in Brokpa and Unpa	<i>Yasuko Ishimoto et al.</i>	117
(3) Peru, Andes, Bhutan, Nepal and Others		
Milk Processing System in Southern Peru, Andean Highland — Diffusion and Transition on Milk Processing in Areas Where Milk Processing Hadn't Been Conducted —	<i>Masahiro Hirata</i>	123
A Case Study of the Iconography Related to the Environment and its Changes in Ancient Andean Culture Analysis of Iconography in ceramic styles in the lower valley of Huarua, Peru	<i>Naotoshi Ichiki</i>	132
“Wisdom of coexistence” learning from Druk Yul, Bhutan	<i>Kiyohito Okumiya</i>	143
Preliminary Report from Khaling Medical Checkup for the Elderly	<i>Ryota Sakamoto et al.</i>	149
Reincarnation and killing: a difference between Bhutan and Japan	<i>Takakazu Yumoto</i>	158
Changes in the Life and Society of the Raute Hunter-gatherers of Western Nepal	<i>Khanal, Kishor Chandra et al.</i>	163
Contributions from the Yunnan Forum		
Traditional Farming Ecological Culture and It's Changes of Terraced Fields of Hani Ethnic Nationality in the Ailao Mountain, Yunnan Province, China	<i>Huang Shaowen et al.</i>	182
Visiting Minorities Villages (Thai, Yao, Chiwan) in the Southern Part of Yunnan, China	<i>Eizo Maeda</i>	198
Agro-Cultural Complex in Tay Cultural Area; The Point of Rice Culture in Northern Laos	<i>Mitsuru Sonoe</i>	209
The Past Sixty Years in the Ejene Banner of Inner Mongolia, China	<i>Kanako Kodama</i>	223
Issues and Japan's cooperation of Agriculture in the Republic of Zambia	<i>Minoru Miyasaka</i>	232